

【めむろ未来ミーティング日程 15】

令和 2 年 1 月 20 日（月）

10:00～11:30

上伏古生活改善センター

■参加者 26人

■芽室町 町長、企画財政課長、住民生活課長、建設都市整備課長、農林課長補佐

■記 録 矢野

■対応・検討が必要な事項

- ①ひだまり保育所入り口の件（建設都市整備課）
- ②コミュニティスクールの件（社会教育課）
- ③役場駐車場の件（総務課）

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 質問事項の回答
- 4 意見交換

【意見】

今説明のあった公共施設の件。まず、施設の要望としては、上伏古地域には旧保育所や地域福祉館などの様々な施設があるが、それらを複合化という形で集約して一つの建物を是非お願いしたいということを改めて町長に認識していただきたい。小学校跡地という形で要望を出しているので、グラウンドの周りも含めた中であそこの現状をしっかりと見ていただいた上での再整備をお願いします。

【町長】

まず地域のご要望をお伺いするというのは大事なことだと思っていて、それともう1つ考えないといけないのが、今後の地域としての人口がどういう風に推移していくかということ。

そうしたことを考えた上で、規模などもある程度

それに合わせていかなければいけないと私は思っている。

後は機能について。どのような機能を入れていくか。地域福祉館については色々考え方があり、単純な集会施設だという地域もあれば、もっと複合的に様々な機能を組み入れるという所もあるので、それは地域によって違ってくると思う。

全てが希望通りになるかどうかは今の段階では申し上げられないが、そうした地域の意向をしっかりと踏まえた上で、先程述べた規模や機能などを議論しながら、町と地域が納得できる形でどういう施設にするか決めていくという手法になる。

地域の皆様の要望については、私も議事録を読んでいるし理解しているので、今後そうした地域の要望も頭に入れながら検討したいと思っている。中々、私も直接的にここに来るという場面が多くはないので、今のお話を十分頭に入れて今後検討させるし、場合によっては私が来て協議することも考えたい。

【意見】

何故複合施設にして欲しいかという理由について補足させていただく。住民の方には色々な各種団体というのがあり、それぞれ使う用途が違う形で利用している。町の公共施設の中で上伏古の利用率を見ると、恐らく中心街の施設よりも一番高いのではないかと感じる。利用率が高いということは地域住民のふれあい・交流が必要なのだということは認識できると思う。

先程町長は、町の人口が少なくなるという方向で考えなければと仰っていたが、どこの施設を改修するにしても、現状を踏まえた中での新築・改修という形が当然だと自分は感じる。

「10年後には人口が減るからこのくらいでいいだろう」というような考えはあり得ないだろう。現在の利用状況を踏まえた中で新しいものにしていくというのが町の仕事ではないのかと思う。

もう1つ。自分たちも連合会などの形で役場の方にもうかがっているが、3年前から要望書も出しているので公共施設に関してはとにかくスムーズな進行をしてほしいと思っている。じっくり考えるのも

良いが、昭和51年建設の施設ということもあり、少しでも早い進行を目指したいので、これからもお話をよろしくお願いしたい。

【町長】

色々な各種団体があり、利用率が高いということも理解している。そうした地域コミュニティもこれから重要になってくると思っている、そういった視点を持っていきたい。

また、仰る通り、他の地域と比べても場所柄、利用率がちょっと違うという面はあると思うのでそこも考えていこうと思うし、もう1つ、スムーズな進行に関しても、担当の方にもどんどんこちらの方に外向くような形のことを数多くやって詰めていきたいと思っている。帰ってすぐにしっかり話していくので、今後ともよろしくお願いします。

【企画財政課長】

一般的なスケジュールをお話すると、前年の8月から9月くらいにはまずやるかやらないかを決めている。その後に予算を詰めて、11月から12月までに具体的な数字を積み上げるというような日程となっている。よって令和3年度に建て替えるとすれば、令和2年度、すなわち今年の8月から9月までにはやるかやらないかを決めなければならないというスケジュールになるため、今町長からお話のあった通り、担当も積極的に地域に赴いてこの8月9月までに詰めるというような形でやっていきたいし、仮に進まなければもう1年送ってしまうような形にはなるので、そうならないように出来るだけ協議を進めていきたい。

【町長】

当然、地域にも打ち合わせに出ていただかなければならないので、申し訳ないが負担というものは当然結構かかるし、同じく令和3年予定の坂の上地区でも同じ話をしている。

また、農村地域においては特に農作業の時期があるため、その時期を外さなければならないということもある。そうすると、本当に今から春までの段階

にある程度詰め切っておかないと、正直な所、間に合わなくなってくるということをご理解いただきたい。10月・11月というのは本当に詰めの段階で、次の年の予算がほぼ細かい所まで整理できるような状況なのが望ましいので、そこもご理解いただいた上で、担当の方も来させて具体的なスケジュールを組んでいくことも必要だと感じる。町としてもスピード感をもって取り組んでいく。

【意見】

いくつかの地区で新しく施設が出来上がっていると思うが、そうした地域の住民の反応を知りたい。

【企画財政課長】

やはり、地域の方々のご要望を踏まえて建設しているので、あくまで今の段階で私どもの所に届いている話だが、非常に使いやすくなったとのご意見をいただいている。

他の地域の施設は、維持管理の関係で以前のものよりコンパクトになったものが一般的で、具体的には、調理場は要らないが代わりにトイレを男女分けて大きくして欲しい、といったような要望を受けて作った施設などがある。

私どもの所には「良くなった」という声しか届いていないが、担当の方には「もっとこうしてくれたら」というようなアドバイスも届いていると思うし、当然把握していると思うので、そちらも皆さんにきちんとお伝えするようにしたい。

【意見】

温水プールを建てる場所について再度確認したい。

【企画財政課長】

今現在は、先程説明した通り、駐車場やテニスコートのある辺りを想定しているが、勤労青少年ホームと繋ぐようなことも考えており、そうすると、話した場所よりももう少し体育館側に寄る可能性もある。

やはり使いやすさを考えると勤労青少年ホームの方の改修も現在考えており、そこと繋いだ方がより

利便性も上がると思っている。

【意見】

この一帯（体育館・プール周辺）は、来月の氷灯夜を始めとして町のイベント事も多いと思う。そのことを考えた時に、駐車場というか車を停めることのできる場所が少ないと感じている。イベントへの送迎バスなどあるのか分からないが、私は小さい子どもがおり、そうした交通機関は利用しづらい面もある。できることならば、一帯で多く車を停められるような駐車スペースを作っていただけたらありがたい。

【町長】

まず場所に関して状況をお話すると、初めは町営球場の南側の砂利になっている場所に作る想定があった。お金のことはあまり言いたくないが、駅の中心から半径1キロ以内の所に施設が建つと補助金に該当する可能性があり、現在は申請を検討中。それを考えると、球場側にあった場合1キロを超えてしまう可能性があり、また、施設自体がすっぽり1キロに入らなければならないということなのでこの位置になる。ただ、これが現在緩和されて、1キロびったりでなくても良いという話になってきているので、これが完全に固まっている訳ではなく、今後流動性はあると思っている。

また、今要望が出た駐車場の確保に関しても、非常に重要だと思っている。スポーツイベントも含めて色々な大会や行事をやるので駐車スペースは必要。

全体の構想を話をすると、体育館のトレーニング室が現在非常に老朽化しているということで勤労青少年ホームを改修してトレーニングや軽い運動が出来る場所を作り、プールや体育館と連動させようという構想を持っている。そうした場合、今のプールの場所が空くことになるので、回り込む形、あるいは青少年ホームの横を通る形になるが、そういった所に駐車場を確保する等のことも考えている。多くの車を停められるスペースは必要なので、停められる台数が極端に減るようなことにはしないように心掛け、駐車場はしっかり確保したい。

【意見】

ひだまり保育所の件。駐車場の除雪は今どこが請け負っているのか。

【建設都市整備課長】

建設都市整備課で担当しているが、除雪を行う時間が道路やスクールバス路線を優先してからということはどうしても最後の方にはなってしまう。

【意見】

今日のようにサラッとした雪というのは中々入づらいのかなという風に思うが、やはり小さい子供の使う施設であるし、入り口側なんかは傾斜になっているせいか車でもすごく滑るようになっているし、実際に子供も転んでいるのも見るので、どれだけサラッと降っても、雪はしっかり除雪したほうが安全だ。

【町長】

場所については、駐車場から入り口に入る傾斜ということか？

【意見】

保育所の目の前に何台か停められるロータリーのようなスペースがあり、あそこがすごく滑る。出る時は良いが、入る時に滑るので私も一度危ないことがあった。

【建設都市整備課長】

今年は雪の降る量が一気に降るということがあまり無かったので除雪は入っていない。ただ、数回降って溜まっている雪が解けてデコボコになったりしているので、その辺は要望があれば路面整正で削ったり、頻繁に砂撒きをして対応している。また現場の方も確認しながら対応していきたい。危険な場所に気付いたら、その都度是非ご報告願いたい。

【意見】

前回の未来ミーティングの際にもお話ししたが、

ひだまり保育所に入る入り口、あそこの縁石が結構高く、段差をなくしてほしい。道道ということで中々手を付けづらい部分もあるとのことだが、入り口なども結構狭いし、小さい子どもも通るので、出来ることなら町からも道に要望していただければと思う①。

【町長】

除雪の件と同様、現場確認をしたのちに、要望させていただきたいと思う。

【意見】

同じく除雪の件。他の場所を除雪してから保育所に来るということは、要するに、子どもが来る前に終わっていないことがあるということか。

【建設都市整備課長】

その時の雪の量などにもよるが、やはり道路の方を優先して、まず市街地を、次に郊外地をやって、その後に公共施設の除雪を行っている。当然、その際には、スクールバス路線や通学路の除雪を、学校に間に合うような時間に行っているが、ただ、稀にどうしても量によっては間に合わない時もある。

【意見】

以前もこうした機会に要望を出して、「除雪は、きちんと子どもが来る前にやってくれ」と言って、「基本的には間に合わないことは無いです」という風に聞いていた。例えば、除雪が間に合わないことがあってなおかつ学校や保育所に行かなければならないことがあるのは、それはあってはならないことだと思うので、今のように「その後で」というような言い方は、後回しや約束と違うといった印象を受ける。

【建設都市整備課】

理解した。基本的には間に合わないことは無い。

【意見】

斎場の件。昨年のミーティングでは、斎場整備に関しては芽室町独自で行いたいというお話、場所や

大きさ等についてはこれから協議するとの話を聞いた。斎場に関しては、スケジュールという形で資料も渡されてはいるが、具体的な計画や町長のお考えをこの機会に改めてお聞きしておきたい。

【町長】

かなり老朽化が進んでいるので、今の斎場を改修しつつも新築・改築、あるいは現地で改修も含めて考えていかねばならないと思っているが、私もこの地域と話し合いをした経過も十分聞いている。

まず今の既存の施設に耐震強度があるかどうかというのをまず整理させていただく。その後、改修なり改築でやれないかどうかということを考える、という、公共施設の整備の手順に則って考えている。ただ、現実的には、「工事の期間中はどうすればいいんだ」といった問題も出てくる。現地で改修を行うということになると、受け入れをしながらということは出来ないわけであり、また、新築をとという意見もあるので、そうした地域のご意見も踏まえると、新築の可能性も否定できないと現段階では思っている。

しかし、公共施設を整備するということは、税金を投入するということなので、全町的にある程度理解をいただかなければならないということと、一方で、斎場という施設の機能的にも地元の意向もしっかり把握して行わなければならない。その辺りを、これから皆さんともっと細かく話し合っていきたい。この資料はあくまで基本的な考え、全町民に向けて出す大枠の話である。細かい話や周辺環境の整備など、そうしたことをこの資料とは別にスピード感を持って皆さんと協議を進めたい。実際の施設の着手までに何もしないということではなく、周辺の整備なども随時やっていかなくてはならないと思っている。

また、覚書というのを交わしており、これは今も生きているので、もう既にある程度やったものもあるし、今後も継続してやらなければいけない部分もある。しっかり確認しているので、そういった所にもう一度立ち返ってこの地域の整備なり並行して考えていく必要がある。

【意見】

近隣住民との話をしているが、その段階で一番の問題は建てたときに約束事をしたのだが、それが守られていない部分が多いということ。それを踏まえて改めてこの地区に作りますかということはある得ないだろう。近隣の方々が何を一番求めているかという、やはり生活環境の改善。そこをきちんと認識してほしい。

【町長】

まず1つは、もう一度覚書を役場として読み返し、整理しなくてはならないと思っている。昭和51年からスタートして何度か連なってやっていると思うが、そこはしっかり前提にして考えていきたい。去年も申し上げたが、この地域の方々の同意だとか意向というのを踏まえないで進めるということにはならないので、そのための前段としても、今言ったような責任を果たしていかなければならないと思っている。それについても今後整理させていただきたい。

【意見】

今ある問題点。こちらでも出したが煙の問題や、たまたま2年間雪が無いものの除雪の問題など色々あるが、それをきちんと解決してから次のステップに進んでほしい。

【町長】

理解した。

【意見】

本日教育長が来られていないが、質問したいことがある。自分は芽室南小学校の区域だが、地域協力隊、協力員という形で毎年選出している経過がある。今年から地域協力員はあるのかないのか、CS（コミュニティスクール）だけになるのか、分かれば教えていただきたい②。

【町長】

それについては確認し、後日回答する。

コミュニティスクール自体は、今までも地域とお話をさせていただいていると思うが、今後本格的に進めて行かなければならないという思いはある。ただ、地域協力員がどうなるかということについてはまだ詳しく分かっていないので、持ち帰って確認する。

【企画財政課長】

現段階で確認できた範囲だが、各学校で地域学校協力会議を設けて、それを社会教育サイドで地域学校共同体本部というのを設けるというような形である。

【意見】

農道整備のことで質問。砂利道というのは毎年グレーダーをかけるのか、それとも1年置きに整備しているのか？

【建設都市整備課長】

砂利道の町道については、町で所有しているグレーダーが1台あり、状況のパトロールしながら対応しているので年に1回というようなことではない。

【意見】

では、毎年必ずやるというようなものではない？

【建設都市整備課長】

確認は全部している。そこでグレーダーをかける必要がありそうな場所に行うという形。また、地域から連絡で「ここの道がひどい」というような要望があった時に現地を確認した上でやる場合もある。基本的には全町を見回っているが、ただ、1台しかないため回るのに時間を要してはいる。

【意見】

去年11線の道路が1度もグレーダーが入っていないので対応願いたい。その前にも入っていないことがあった。他の道路は結構入っているように思えるが、何故か11線だけここ何年か見てもかかっていないことが多い。せっかく幅広い道路にしているのにグレーダーをかけないことによって道路ふちに

雑草が生え、草刈りなどの整備が大変なので、毎年きちんと道路のふちまでグレーダーをかけていただきたい。

【建設都市整備課】

理解した。11線の方を確認させていただく。

【意見】

同じく農道の件。私の自宅が7線だが、つい最近水道の管ができて砂利道にマンホールがある。これはさまざまな集まりの度に何回か言っていることだが、現在町は偶数線にはアスファルトになっているが、奇数線はほとんどがなっていない。管の走っている場所などは、今後の保守などを考えると、多少整備した方が良いのかなと感じている。簡易的なものでも良いと要望はしているのだが、簡易舗装という概念は無いということや、予算的に無理だということである。7線はグレーダーが来ておらず、確かにマンホールもあるので蓋をまくりそうでかけられないのだと思うが、こちらはデコボコのまま放置されても困ってしまう。約束事というわけではないが、当初はあそこの道路を整備する時もアスファルトにするつもりで下地や幅も確保しているはずなので地区の連合会も要望は出しているとは思いますが、7線に限らず、せめて民家のある所や管などの公共のものが通っている所は、どんどん整備していただけるとありがたいと思っている。

【建設都市整備課長】

ご意見感謝する。町の方にも砂利道はある。繰り返しになるがパトロールを行ってグレーダーの方も極力入るようにしたい。

7線については、公共施設や民家のことも考慮しながら、町全体の中で優先順位を決めながら整備していきたい。舗装整備ということは難しいが管理の方はきちんとしていきたい。

【町長】

そのように水道の配管や何かが来たことによって変わって来る部分はあると思うので、砂利だと厳し

い部分はあるかと思う。理解しているので、今この場ですぐに舗装しますということは言えないが、状況を考慮しつつ管理したい。

【意見】

役場の新庁舎のことだが、現庁舎が取り壊して駐車場になるとのことで、想像するに、雪の状態が悪いめむろ一どの北側の駐車場のようにならなくなるのか？構想を詳しく教えていただきたい。

【町長】

駐車場の件は建設する時に懸念しており、めむろ一どの北側は冬は危ない状況である。回答としては、新しい駐車場にはロードヒーティングをかける予定。

熱源としてはヒートポンプを使うので、地中熱を使うということで非常にエコである。駐車場利用者に不便がないように十分気を付けたいと思っている。

【意見】

農村地域の落葉に関して。枝処理などをした時に落葉や落ちた枝の量がすごい。しかし、勝手に燃やすのは駄目ということで、どう処理したら良いか今一番困っている。

【町長】

この話は各会場でも意見がある。防風保安林もそうだが、かなり倒れたりしている所があり、特に交通に支障のある所などは早急に対応している。また、大きい木になってくると森林組合で作業車を使わないと出来ない部分もあるが、小さいものであれば、職員で出来るものであればやるという考えもあるし、皆さんでやっていただくという場合もある。ただ、意見のとおり、問題はその処理。

枯草の処理に関しては、市街地であれば回収したりはしているが、落葉に関しても、今回他地域含め要望が出てきたことを受けて今後処理方法を考えていく。

【意見】

去年の暮れ辺りに帯広の競馬場付近にクマが居て

処理されたという話を聞いたが、やはり芽室でも鳥獣の問題は深刻である。実際にクマもいる。農林課から毎年被害の有無についてアンケート調査はあるが、出してから柵や罠をどうこうするだけではなく、もう少し害鳥や害獣について、先手を打つような形も考えて対策したら良いのではないかな。

【町長】

私も担当を長くやっていたので、非常に悩ましい問題であることは理解している。前にも話をしたが、近隣だと例えば足寄町は「林で止める」という考え方を持っているので、年間2キロずつくらい、塀を毎年計画的に立てているとのこと。ただ、結局、川沿いに入ると来られると塀の意味が無くなってしまい悩んでいるとの話も聞いており、難しい所である。よって、皆様にご連絡をして電気柵の申請などをお願いしている所はあるが、根本的な解決にはならず、特にシカに関してはどこかでシャットアウトする方法を計画的に考えていかなければならない。

また、有害鳥獣駆除員を役場で雇用してやっている自治体というのはほとんど無いが、芽室町はそれを行っているので、皆様が効果を実感できるかどうかは分からないが、そういった意味での先手は打っている。

昨今では、ハンターも高齢化などで中々見つからず、また、基本的にはライフルを撃てるようになるための制限が厳しい。例えば、基本的には散弾銃を取ってから10年経たないとライフルが撃てないということで、そうした意味では非常に難しい状況となっている。もう1つ、3年前の災害によって、国有林の上の方が全然手が付けられていない状態と化し、人が行かないためにクマ等の鳥獣が繁殖し、降りているという現状がある。抜本的な対策は中々厳しいものがあるが、町としてはハンターの体制と柵の設置といった対策は維持していきたいと考えている。

【意見】

災害など色々あったが、嵐山の今後についてお聞きしたい。

【町長】

今月の1月31日にもシンポジウムを開催して、その場で嵐山の今の構想を町民の皆さんに公表しようと思っている。災害被害を受けたキャンプ場については、あそこ場に再びキャンプ場を作るという考えはない。むしろ、山のふもと側、山の下の方にキャンプ場を持っていけないか、あるいは、市街地側から行くと手前側、駐車場の横などに林があるが、あの所の自然景観を活かしてグランピングが出来るようにするなど、そうした構想を持っている。

1つだけ言えるのは、自然環境を活かしたものにしたいので人工物、たとえば言うとジェットコースターや観覧車のようなものを付ける気は全くなく、自然を活かした手法、例えば頂上を活用するにはどうしたら良いか、夏場のリフト運行は出来ないか、林道を整備したら良いのではないかとといった話があって、おおよそこういうゾーニングを考えている、というのを公表したいと思っている。

では、今のキャンプ場だった場所はどうするかというと、どちらかというとイベント広場のような形にしたいと思っている。勿論、レンガ等がそのままになっていて見栄えが悪いということはご指摘も受けているので、それは早く片づけるべきというお話もさせていただいている。

いずれにせよ、スキー場と宿舎に関しては今後も町で責任を持ってやっていくつもりだが、その他の企画については町ですべてをやるのではなく、民間と提携しながら上手くやっていこうと思っている。サウンディング調査と言って、色々提案もいただいているので、もう少しお待ちいただければ今よりも詳しい話が出る。

【意見】

子供は暑い日に外に行きたがるものなので、木陰など涼しい場所で休んだり遊べるような場所も是非考えていただきたい。

【町長】

お子さんのいるファミリー層まで色々な年代・世

代の人が楽しめる・魅力を感じられる場所にしていきたいというコンセプトでやっていく予定である。

【意見】

国や農協の方では女性参画ということが叫ばれているが、住んでいる人が参加しやすい、やりがいの持てる、何かそうしたものがないと女性参画は進んでいかないのではないかと感じる。

芽室町は、少しでも社会に女性が参加しやすい手法というものは、何か考えていращやるのか。

【町長】

こうした意見交換に関しても、女性の方には申し訳ないがやはり男性が多かったり、年齢の高い方が多かったです。若者や女性といった方が如何に参加しやすい雰囲気を作っていくかは重要だと思う。

ただ、役場がそうした場を作るとなると、〇〇会青年部だとか、〇〇会女性部、といったものになってしまうというのが実態。よって、フリーな方にも来ていただけるような手法だと色々なものを考えたいとは思っている。

こうしてミーティングをやっても、そうした層はあまり来ていただけないというのがやはり現状だが、反面、女性中心の子育ての団体などにお話を聞く機会があると、非常に斬新なアイデアが沢山あるので、そうした個別のPRというか、意見交換の場を設けていくというのが町としての第一歩なのかなと思っている。

【意見】

農村部の公共交通の件について。去年7月にタクシーチケットの助成実験をされて、2月になってまた実験を行うとのことだが、現在はこういった状況なのか。町としては実用化する予定なのか。

【企画財政課長】

今お話のあった通り、昨年の7月にまず1か月実証実験を行い、19の方に利用していただいた。正直なことを述べると、そんなに多くなかったというのが感想だが要因としてはやはり夏の時期であっ

たということが1つと、私たちのPRが不足していたということが考えられる。来月には再度実証実験を行うので、今度は町としてもしっかり広報等でPRをするし、皆さんも、対象の方がいらっしゃれば声かけをお願いしたい。

仕組みとしては、農村部の方が市街地まで来る時にそのタクシー代の半分を助成するという制度で、月2回を上限としている。半分は自己負担だが、形式としてはタクシーのチケットを対象者にお渡しするという形なので、例えば2人一緒に乗れば2人分のチケットなので無料になるという使い方など出来る。タクシー会社さん側としても、一緒に乗ってくれた方が効率的とのことなので、こうした使い方等に関しても積極的にPRしていきたい。

結論としては、来年度から本格的に行う予定である。

【意見】

私たちのこの地域でも免許を返納している方もいるし、家族に「してほしい」と言われている方もいて交通手段には困っているし、バスの場合は時間帯がどうしても合わないということもあるので、是非来年度から取り組んでいただけると高齢者はありがたい。

それともう1点、要望。この時期には確定申告があるが、現在役場の新庁舎を建てているということで、駐車場があまりない状況③。

「確定申告に来てもどこに止めたらいいいんだ」という声も聞く中で、例えばふれあい交流館の前の駐車場をいくらか開けるだとか、農協の中央店の北側をその時期だけ1か月程町民に開放するなど、何とか駐車スペースを確保していただきたい③。

【町長】

こちらの都合で止められる台数がほぼ無い状況なので申し訳ない。今回、別の会場でもこうした要望が出たことや、今のご提案も持ち帰らせていただき、検討する。ただ、どうしても消防側などに停めていただく可能性はあるがご理解いただきたい。



11:30 終了